

報道関係者各位

株式会社 BCN
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14 本郷ダイヤビル 6F
TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN 田中繁廣

<http://ranking.computernews.com/>

薄型テレビ、引き続き好調な売れ行き示す

液晶 37 インチ以下はシャープ、38 インチ以上でソニーが支配力を維持

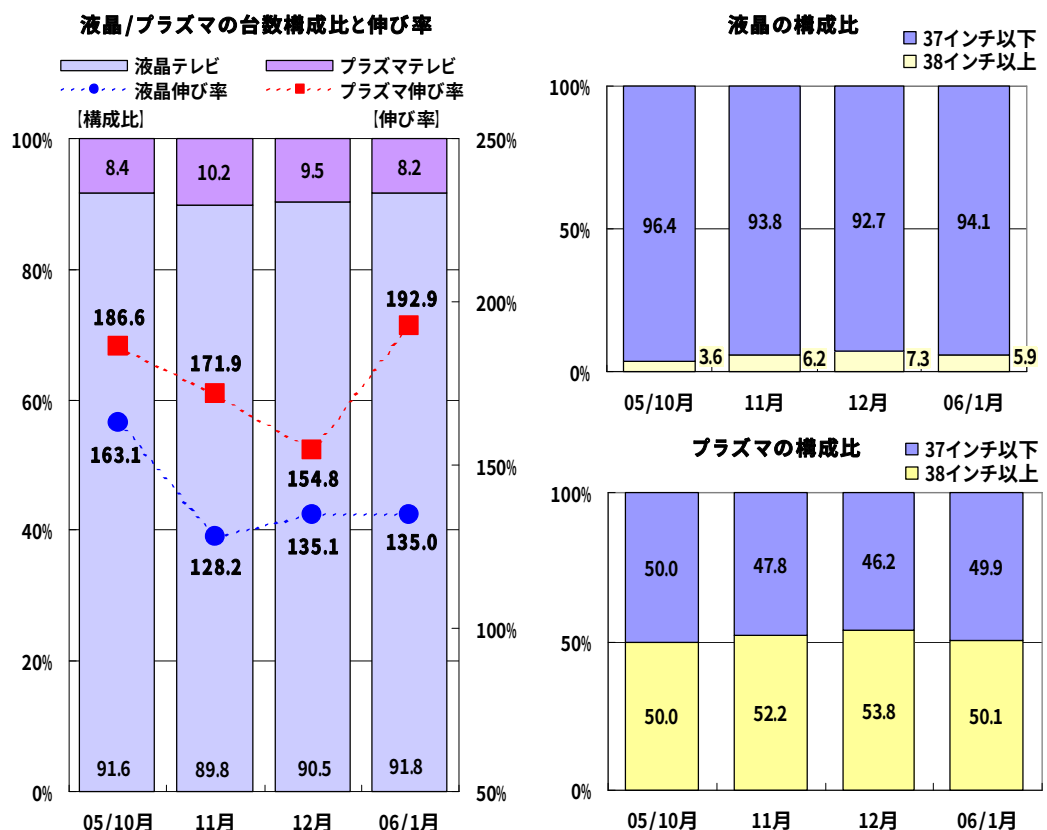
株式会社 BCN (本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男) は、BCN ランキングをもとに薄型テレビの販売動向を分析。その結果、06 年 1 月も需要は引き続き旺盛で液晶、プラズマとも高い伸びを示した。プラズマでは松下電器産業が画面サイズの大小を問わず圧倒的なシェアを維持するが、液晶では 37 インチ以下はシャープ、38 インチ以上ではソニーが 05 年 11 月以降、トップシェアをキープする。

BCN は、全国のパソコン専門店、家電販売店 18 社 (アロシステム、エイデン、大塚商会、ギガスケーズデンキ、グッドウィル、さくらや、上新電機、ソフマップ、ZOA、九十九電機、T・ZONE ストラテジィ、デオデオ、ニノミヤ、100 満ボルト、ビックカメラ、ピーシーデポコーポレーション、ベスト電器、ラオックス=50 音順) 2,205 店舗 (2005 年 12 月末現在) の日次配信データをデイリーで収集し配信する BCN ランキングを公表しています。このデータをもとに、PC リテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています。

液晶、プラズマを軸とした薄型テレビの売れ行きは引き続き好調で、06 年 1 月も高い伸びを示した。液晶の伸び率は台数ベースで前年同月比 135.0%、プラズマは 192.9%。ここ数カ月の伸び率からも、情報家電の中で抜きん出た成長商品となっている。液晶とプラズマの構成比率には大きな変化はなく、液晶が 9 割前後を占める状況が続いており、1 月は 91.8%に達した。

それぞれの画面サイズを、中型を軸と

した 37 インチ以下、大型の 38 インチ以上に切り分けると、液晶では 9 割以上を 37 インチ以下が占めるの

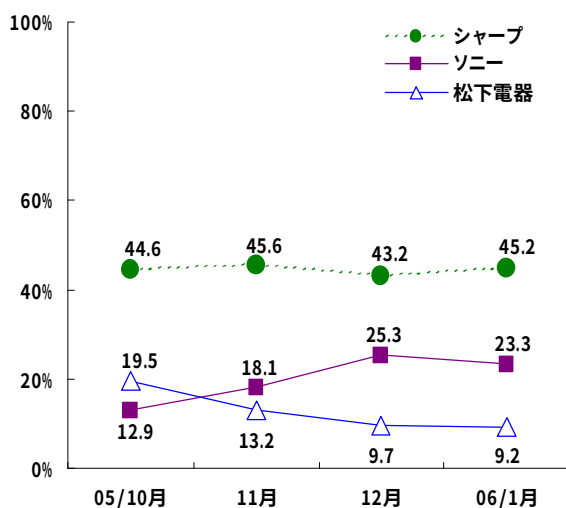


に対して、プラズマの比率はほぼ拮抗する状況にある。液晶の構成比を見ると、38 インチ以上の比率が05 年10 月はわずか3.6%にとどまっていたが、年末の需要期となる11 月には6.2%、12 月は7.3%と小刻みに上昇。06 年1 月は5.9%とやや比率を下げたが、液晶の大型化が進む気配が現れている。

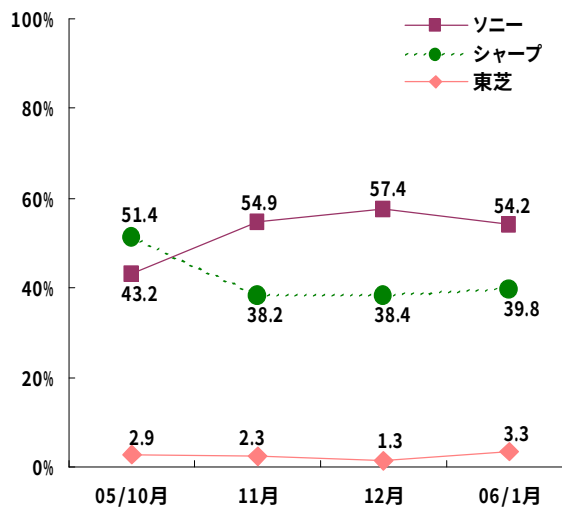
液晶はシャープ、プラズマは松下電器がトップメーカーであることに変わりはないが、37 インチ以下、38 インチ以上に切り分けるとやや様相は異なる。

液晶では、11 月を境にソニーの躍進ぶりが目を引く。37 インチ以下で松下電器と立場を逆転しシャープに次ぐ2 位に躍進してきたほか、38 インチ以上ではシャープを追い抜き、半数を超えるシェアを維持して3 ヶ月連続でトップメーカーに君臨している。一方、プラズマでは松下電器の支配力が健在。37 インチ以下で日立製作所、38 インチ以上ではパイオニアとの格差は大きい。

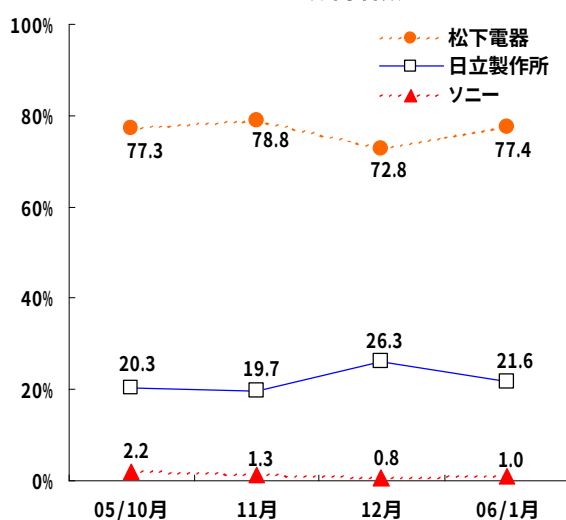
液晶「37インチ以下」台数シェア



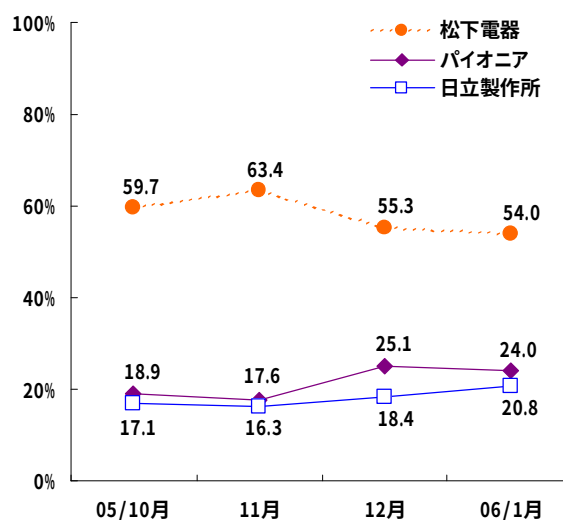
液晶「38インチ以上」台数シェア



プラズマ「37インチ以下」台数シェア



プラズマ「38インチ以上」台数シェア



本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。

お名前・会社名をメールにてお知らせ下さい。

お問い合わせ先: release@bcn.co.jp